

3月定例会

陸別町議会3月定例会は、3月10日から18日まで、4日間開かれました。今定例会では、令和7年度補正予算案7件、指定管理者の指定1件、過疎計画の策定1件、町道路線認定1件、条例案7件、令和8年度当初予算案7件を可決し閉会しました。

陸別町水泳プール改修事業 4億7千万円

小学校水泳授業は、
 足寄町の水泳施設で実施予定

当初予算質疑から

●陸別町水泳プール改修事業 4億7千万円

Q 非常に大きな改修工事で、できるだけ地元企業に受注を増やしていただきたい。一括よりは分離の発注の方が多くの企業の利益になりやすい。今回のプールは分離して行うのは難しいのか。

A 各種工事内容によって資格審査を行い、その工事が適切に施工できる事業者を複数選定し、競争入札の方法によって発注する流れになる。

●水泳少年団活動 臨時支援事業 37万円

Q この事業の具体的な内容について伺う。

また、小学校の水泳授業はどのように取り組むのか。

A 水泳プール改修に伴い施設が利用できないことから、水泳少年団の継続した活動の支援として、町外施設の利用料金及び往復の交通費を助成する。

また、小学校の水泳授業は、低学年、高学年に分けてそれぞれ5回、スクールバスを利用して足寄町の水泳施設で行う。



▶令和8年度は改修工事のため利用中止

令和8年度 各会計当初予算額

会計名		総額	前年度比
一	一般会計	55億 1,110万円	111.1%
特別会計	国保事業勘定	3億 2,008万円	92.7%
	国保直診勘定	3億 7,621万円	113.0%
	介護保険事業勘定	3億 0,013万円	99.1%
	後期高齢者医療	6,342万円	118.4%
事業会計	簡易水道事業	2億 4,451万円	110.7%
	公共下水道事業	2億 2,915万円	114.5%

令和8年度 予算総額 70億4,462万円

当初予算質疑から

●生成AI利用料

71万円

Q これまで試験的な運用を行ってきたことにより、実際にどのような効果が得られたのか。

また、今後、どのような使用が考えられるのか。

A 書類作成による文章校正、要約機能、各種会議における会議録文字起こし等を試験運用として実施した。

今後の活用については、この他に画像生成、マニュアル作成、多言語への翻訳機能等が考えられる。

幅広く色々な活用が考えられているので、研究、研修を行いなから有効に使っていききたい。

●地域内交通対策事業

1千886万円

Q 町内のハイヤー利用は、令和6年度以降1回300円で利用可能となっ

たが、最近の国際情勢からガソリン価格が不安定な情勢だが、ハイヤー料金に変動があったとしても300円としていくのか。

A 現時点では、利用者料金を変更する予定はない。今後、料金改定があった場合は、ハイヤー会社と協議させていただきながら単価改定等は考えていきたいと思うが、利用者負担については、現行の水準をできるだけ維持していきたい。

●保健業務

インターンシップ事業

23万円

Q 昨年から保健師のインターンシップを受入れているが、昨年はどのような活動をした実績があるのか。

また、今回は何人分を想定しているのか。

A 2泊3日で陸別町で保健業務を経験している。ただ、そのような流れで実施している。看護大学等の保健師養成

学校に職員が出向き、いわゆるリクルート活動や一部大学の臨時講師なども務めさせていただき、学生や教授陣との顔つなぎといった活動も行っている。学校の紹介もあり学生5名のインターンシップにつながっている。

令和8年度は、5名の受入れを予定している。

●生ごみ処理機購入助成金

16万円

Q 機械式の生ごみ処理機は、購入金額の2分の1以内で上限額が3万円、コンポストについては3千



生ゴミ処理機



コンポスト

円を2個まで上限とする補助金であるが、これまでの助成実績と、町民に利用を促す必要から、利用促進の案内を出す考えはないか。

A 令和6年度は0件、令和7年度も現在のところ0件である。

助成の対象が町内商店からの購入に限られていることから、町民は勿論ですが、町内の商店の方にも制度の周知を図っていききたい。

周知方法についても、町内回覧や広報に取扱店の情報を記載するなど検討していききたい。

●有害鳥獣駆除

従事者育成補助金

13万円

Q 町長の執行方針では、ハンターが今後減少すると言及されているが、北海道では、熊の出没が多いので公務員のハンターを採用すると言っている。当町において、ハンターが減少しているという事は、そういう公務員を、今後養

成しなればならないと思
うが、取り組む考えを伺う。

A 70歳を超えるハンター
が現役を引退するとい
う心配もあるが、令和2年
以降、この補助金を活用し
10名程度増えている。

公務員ハンターについて
は、現時点で採用について
の協議等は進めてないが、
北海道や他の周辺の自治体
の事例を参考にさせていただ
き、当町になじむような
駆除の体制確保を整備して
いきたい。



●プレミアム商品券

発行事業
871万円

Q プレミアム商品券は
6月と11月頃の販売と
しているが、予約制ではな
いため売り切れた時点で販
売終了となり、11月は販売
開始翌日の午前中には完売
している。販売数の割合を
冬は多くするなど検討も必
要と考えるが、この販売方
法は、商工会に委託して割
合も決めてもらっているの
か。

また、今年度の販売につ
いて、どのように検討して
いるのか。

A プレミアム商品券発
行事業は、委託事業で
はなく商工会が実施する事
業に町が補助しており、商
工会の理事会や商工業の商
店の皆さんで協議し効果の
ある取り組みとなるよう進
めていただいている。

●学校給食食材料費

1千478万円

Q 令和4年度決算にお
いては、購入率が31・

94%であったが、町内事業
者からの購入率は、現在ど

のようになっているのか。
令和8年度の町内購入率を
増やす計画になっているの
か。

また、町内事業者と価格
交渉などの協議は行ってい
るのか。



▲給食に「りくべつ牛乳」を使用

A ふるさと給食の考え
方は従前から変わらず、
購入率も3割をキープする
考えである。

また、町内事業者との価
格交渉は特に行っており、店
頭価格で購入している。
町外の購入分については、
学校給食関係の入札価格に
よるものとなっている。

令和7年度 各会計補正予算

会 計 名		補 正 額	総 額
一 般 会 計		1億 6,127万円	52億 6,680万円
特別会計	国保事業勘定	△ 81万円	3億 4,475万円
	国保直診勘定	△ 28万円	3億 4,220万円
	介護保険事業勘定	△ 80万円	3億 5,783万円
	後期高齢者医療	△ 147万円	5,242万円
事業会計	簡易水道事業	△ 1,084万円	2億 1,017万円
	公共下水道事業	△ 512万円	1億 9,583万円

新年度予算の主な事業

○ 介護サービス利用者負担軽減事業 238万円（継続）

〔社会福祉法人等の介護福祉施設サービスや短期入所生活介護及び介護予防サービス等を利用する方で、市町村民税世帯非課税、単身世帯で年収150万円以下など、市町村が生計困難と認めた方が対象です。軽減は、1割負担と食費、住居費等の1/4が原則で、利用者の状況に応じて決定する〕

※詳細については、介護保険担当に確認ください。

○ 地域内交通対策事業 1,886万円（継続）

〔陸別町内に限り（全域）、ハイヤーの利用が1回につき300円で乗車できる。診療所から薬局までは無料〕

○ 地域おこし協力隊事業 2,458万円（継続）

〔事業承継、バイオガスプラント運営支援員、銀河の森プロジェクトマネージャー、英語指導等〕

○ 障がい福祉計画等策定事業 1,448万円（新規）

〔地域福祉計画、陸別町障がい者基本計画、陸別町障がい福祉計画、陸別町障がい児福祉計画、成年後見利用促進基本計画〕

○ 緊急銃猟対策事業 224万円（新規）

〔防護用盾、ビデオカメラ、LEDライトなどの備品購入〕

○ 公用車購入事業 8,198万円（新規）

〔除雪トラック 10t級〕

○ 救急車両購入事業 5,620万円（新規）

〔災害対応特殊救急自動車適応シャシ（寒冷地仕様）〕

○ 陸別町水泳プール改修事業 4億7,000万円（継続）

〔陸別町水泳プール老朽化による施設改修〕

○ 出産祝い金事業 180万円（継続）

〔第1子20万円～第4子以降100万円まで、交付要件に該当する方に祝い金を贈呈〕

○ 修学旅行費に対する助成 小学校16万円／中学校63万円（継続）

〔小学校は1人あたり1万円 中学校は1人あたり3万円を助成〕

○ 給食費無料化 保育所200万円／小学校476万円／中学校367万円（継続）

〔保育所は食材費を公費負担 小・中学校は給食費を全額補助〕

3月定例会では3人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

一般質問

町内会の重要性と連携・支援 地域特産品の生産・企画開発は

工藤 哲男 議員

町内会の

活動活性化支援は

問 町内会は地域住民の任意組織であり、行政にとつて重要な協働のパートナーである。その成長の仕掛けを作ることが町のウハウウであるが、活動の位置付けと役割について伺う。

また、町内会未加入者や脱会者の防止対策の町の対応と、町内会のコミュニケーションの場づくりに対する補助金や、所有の会館の老朽化による解体に対し解体補助金を検討するべきではないか。町内回覧内容にしホームページの閲覧を「広報りくべつ」で促しているのか。将来的にデジタル化は考えているのか。

今後の自治会連合会と各町内会の活動活性化への考

えを伺う。

答 町内会は行政を補完する役割を担う組織で、

対話の窓口として地域連携づくりやコミュニティ活動の中核、共助の基盤であり行政とのパートナーである。

町内会への未加入者も把握しており町民課窓口での加入促進は、今も継続しているが、更に資料配布も検討中である。コミュニケーション活動への交付金は、今後検討していきたい。会館解体は、陸別町地域集会所等建設及び改修費補助金を活用頂き、半額補助で町長が認め可能としたい。

町内回覧の町ホームページ掲載は、昨年の9月に「広報りくべつ」で周知している。デジタル化は、今後、役場内全課の事務レベルで情報伝達手段を検討議

論する予定。当面、デジタルとアナログの併用発信とし、今後は自治会連合会との対話を密にしながら、各町内会が抱える課題を丁寧に把握し活動継続や支援活性化を考える。

地域特産品の生産・

企画開発の取り組みは

問 陸別町の更なる地域特産品を企画し、生産

商品化することは農業生産者、商品開発者だけでなく行政、農協、商工への張り合いと潤いをもたらすが、特産品開発に対し町の考えを伺う。

また、ふるさと納税の返礼品に利用できる事から町が先頭に立ち企画から商品化、PR、販売までの特産品開発プロジェクトチームとして取り組む考えはないか。さらに、特産品開発に関して個人、組織への協力体制について伺う。

答 当町の特産品開発が「ふるさと納税」返礼

品に繋がることを期待し、農協と牛肉製品に関し相談をしている状況にある。

特産品開発には、生産者の強い志と責任が必要で「みどりの園」のハムに関しても情熱の元にできた特産品であると認識する。プロジェクトとしての開発は考えていないが、その状況から「まちづくり補助金」の活用や農畜産物加工センターでの試作も可能としている。

特産品に関しては、意欲ある個人、団体からの相談や協力要請に柔軟に対応していきたい。今後も情報収集により町に何ができるか考えていく。



▲ りくべつ低温殺菌牛乳



ここが聞きたい

しばれる町同士の 暖かい関係と経済交流の発展

三輪隼平 議員

姉妹都市ラコームとの 今後の交流は

40周年を迎えるラコーム市との姉妹友好提携において、長年、直接の対面での交流機会であった中学生等海外研修派遣事業の現在の考えと今後の動向は。

問 40周年を迎えるラコーム市との姉妹友好提携において、長年、直接の対面での交流機会であった中学生等海外研修派遣事業の現在の考えと今後の動向は。

答 新型コロナウイルス感染症拡大以来、町民の安全を確保すべく、多くの事業の見直しを行っている。また、昨今の旅費高騰から、令和5年度に中学生等海外研修派遣事業の中止を判断し、今後も本事業の再開は考えていない。令和9年度の修学旅行にあわせて小中学校英語学習を実践で試す集大成として、東京グローバルゲートウェイを英語研修事業の適所と判断した。より参加しやすい環

境と英語力向上を目的に、英語研修と修学旅行の充実に努める。

問 陸別町国際交流町民の会が主体となりラコーム市との友好関係を深めた経緯があるが、現在の状況は。数年ごとにでも町民から参加希望者を募集選考、少数の訪問団を結成し、ラコーム市と対面の交流機会をつくれぬか。

答 ラコーム市からの訪問団体受け入れ等、本町の国際交流を長年支えていただいた陸別町国際交流町民の会は解散しており、ラコーム市との国際交流の方法として、このような経緯があったことも確かであるが、渡航費用等の課題があり現時点では難しい。

問 陸別町観光物産館において、カナダやラコーム市の特産品販売をできないか。館内には、手作りのPOPを用いた商品の紹介や関連書籍とゆかりのある東金市との関係等も知れるコーナーがある。ラコーム市のコーナーも同様につくれないか。逆に、カナダやラコーム市にお

答 自治体は対象外であり活用できないが、外国文化と触れ合う機会の確保という観点から、8月から特例で外国人の地域おこし協力隊を採用することにより、異文化理解の促進や国際交流の充実を図りたい。

問 (公社)北海道国際交流・協力総センターが諸外国との交流事業に交付している助成金を活用し、派遣事業に限らず、文化や特色を知り合う国際交流を図れないか。

答 今回渡航するにあたり、今一度、現地の確認や新しいラコーム市長とこれからの国際交流をどういう形にするか検討していきたい。また、物産の相互交流の可能性も探ってみたい。姉妹都市紹介コーナーは、役場庁舎一階ロビーに設置しているが、姉妹都市提携40周年ということもあり、文化祭等での展示も検討している。

問 陸別町観光物産館において、カナダやラコーム市の特産品販売をできないか。館内には、手作りのPOPを用いた商品の紹介や関連書籍とゆかりのある東金市との関係等も知れるコーナーがある。ラコーム市のコーナーも同様につくれないか。逆に、カナダやラコーム市にお

答 自治体は対象外であり活用できないが、外国文化と触れ合う機会の確保という観点から、8月から特例で外国人の地域おこし協力隊を採用することにより、異文化理解の促進や国際交流の充実を図りたい。



▲ 1986年7月5日 姉妹提携調印式の様子

公民館の建替えについて

谷 郁 司 議員

問 当町の公民館は、社会教育法に基づき、昭和57年に整備されている。

公民館は青少年、高齢者、障害者、乳幼児保護者等の施設利用を促進し学習成果や知識技能を広げる施設で図書室、資料室、多機能室が有る。築44年が経過し問題点も見受けられるが、現況をどのように捉えているか伺う。

答 老朽化している施設の一つであると捉えている。社会教育団体の高齢化に伴い、エレベーターが無く、2階講堂への上り下りが大変で、利用者数が減少しているという事実はある。

問 耐震性のある建物であるが、入館利用者の健康安全安心のため、アスベスト（発ガン物質）の検

査測定に毎年30万円超で計上されている状況について伺う。

当初ボイラー室が調査対象であったが、特に煙突にアモサイト（茶石綿）という物質の含有が確認され、煙突内の灰の除去・飛散封じ込みに、平成28年に55万4千円ほどをかけ、飛散しないように作業を実施した。今後も職員の職場環境、健康状況の維持も含

答 当初ボイラー室が調査対象であったが、特に煙突にアモサイト（茶石綿）という物質の含有が確認され、煙突内の灰の除去・飛散封じ込みに、平成28年に55万4千円ほどをかけ、飛散しないように作業を実施した。今後



▲ 建築から44年が経過した公民館

め、粉じん調査を毎年行い飛散していないことを確認していく。

問 図書の蔵書数は決算書で4万2千578冊とある。図書室にあるオー

プンの書架では限られ、残りは蔵庫に収納されている。図書館司書によるとデジタル化作業により目録整理を行っているとのことである。古くなった図書の譲渡会開催や蔵書の中には個人の善意浄財で買い揃え充実してきた経過もある。読書による活字から得られる知識は、非常に大切な事であるが、利活用の現状は。

答 図書室の利用者は年2千人を下まわる状況だが、現時点ではアナログでの貸し出しを継続し、皆さんが喜んでいただける形で進めることを考えている。実際に来館する方以外では、小中学校にも図書室があり、図書館司書が子供たち

ちに推薦できる図書を、読書推進のため学校へ提供交換も行っている。

換も行っている。

問 点在している寛齋資料館・天文台・鉄道資料・農林産業馬文化・先住民族文化・各歴史的資料をデジタル映像化・音声ガイド化等を進め、持続可能な町づくりとして斬新な展示品で来館者へ感動を与えるための整備に取り組んで欲しいが考えを伺う。

令和8年度教育行政執行方針に公民館は、「将来を見据えた施設整備を進めてまいります。」と明記している。陸別の人口規模に合った国の補助金などを網羅し、町民に喜んでいただける施設になるよう努力したい。

答 建てないと言っている訳ではないが、現状の費用対効果やアスベスト問題、老朽化による改修費用等を考慮し、冷静に判断した中で、舵を切るときは切らなければと考えている。今後とも様々な意見を聞き進めていきたい。

今後とも様々な意見を聞き進めていきたい。

